

科目番号		52001	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	助産学概論 (Introduction to Midwifery)							1		
								配当セスター		
								前期		
担当者	○渡邊 香			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 助産の基本概念および女性を取り巻く社会的背景を認識し、助産師の責務と心理、社会的変化の中で期待される役割と重要性について理解を深め、助産師としてのアイデンティティを獲得する。 【目 標】 1. 助産の基本概念を理解し、助産師としてのアイデンティティ確立の動機づけにする。 2. 助産の歴史を理解しこれからのあり方を説明できる。 3. 助産学を構成する理論を説明できる。 4. 助産師教育制度の変遷を理解しこれからのあり方について説明できる。 5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの背景と現状を理解し今日的課題を説明できる。 6. 助産師の専門職性と業務を関連法規について説明できる。 7. 助産師と倫理について理解し助産師の基本的態度について説明できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							○	6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	カリキュラムガイダンス 助産の基本概念、助産師の役割・責務、必須能力								渡邊	
第2回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと今日的課題									
第3回	助産・助産師の歴史と文化、国内外の助産師教育									
第4回	助産学を構成する理論①ー理論の機能と種類、助産の対象理解への応用									
第5回	助産学を構成する理論②ー助産過程の概論									
第6回	助産師と倫理									
第7回	助産師の専門職性と業務（関連法規）									
第8回	母子保健の諸制度（産科賠償制度）									
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。									
評価の方法	筆記試験（100％）									
参考図書・資料等	◎助産学講座 1 助産学概論 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ 第7版 堀内成子他 医学書院 ・母子保健の主なる統計 令和7年度版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									